

# 施 工 要 領 書

(人口芝生デビロン#106)

## 【使用上の注意】

※本製品は目砂を充填することを前提に設計されております。

施工の際には必ず規定量の砂を充填の上ご利用くださいますようお願いいた  
だきたく宜しくお願い申し上げます。

- ・ 施工手順
- ・ 施工要領
- ・ アンカー打込み位置図（切欠き部分）
- ・ 施工手順写真
- ・ 施工事例写真

人口芝生 **デビロン**

阪和工業株式会社

阪神事務所

〒663-8121 兵庫県西宮市戸崎町4番20号

TEL : 0798-62-1555 FAX : 0798-62-1556

# 施工上の注意事項

～人口芝生デビロンを正しくご利用いただく為に～

## 製品の敷設方向

◎方向性のある遊具（例えばブランコ）等は振り方向が帯方向とします（＃118・＃260）。

## 地盤

◎平滑で締まった土の地盤とします。

砂の地盤には不向き。砂地盤に施工の際は地盤改良を必要とします。

◎客土、盛り土した地盤にはプレートなどで十分に転圧し固めます。

◎アンカー（Uクイ）の打込みテストをし、指でつまんで引き抜いたときに抵抗なく抜ける様なら地盤の改良が必要です。

## アンカー（Uクイ）打ち（アンカー位置図を参照して下さい）

◎必ず指定の位置に規定の本数を打つこと。指定位置に打てない場合は付近に打つか、余分に打ちます。

◎アンカー（Uクイ）打ちは基盤に当たる所で止めて、打ち過ぎや打たな過ぎに注意します。

アンカー（Uクイ）の上部が基盤より上に出ない様にします。

◎アンカー（Uクイ）は手で引き抜いても容易に抜けない状態とします。

◎アンカー（Uクイ）の効きが甘い場合には地盤改良をして下さい。

## 水締め

◎水締めは霧状でたっぷり（概ね  $200/m^2$ ）撒き、砂を締めるとともに葉片を開かせます。

※砂の充填や水締めが充分でないと砂が沈み浅くなるので注意してください。

（水締め後に砂が少ない場合には必ず補充してください。）

## 仕上葉片の出具合

◎水締め完了後で葉片が GL から 1 cm 程度出た状態が好いです。

## デビロン端部の収まり

◎デビロン敷設部の周囲が土やせ（流失）してデビロン端部の基盤が露出する場合には必ず客土補充して基盤部を埋設して下さい。基盤部が露出した状態で繰り返し踏まれますと破損します。

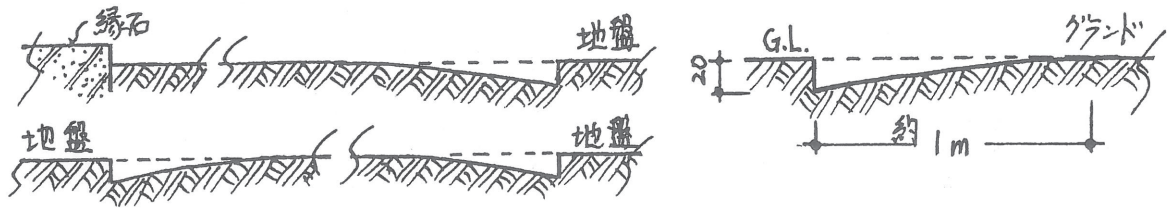
☆目砂の流失や周囲被覆土の流失による基盤部の露出が発見された場合には必ず目砂の補充、被覆土の復元作業を行ってください。基盤部の露出がない限りメンテナンスフリーで長く性能を維持いたします。

☆上記注意事項を必ず厳守し施工して下さい。

# 人工芝生デビロン#106 施工手順

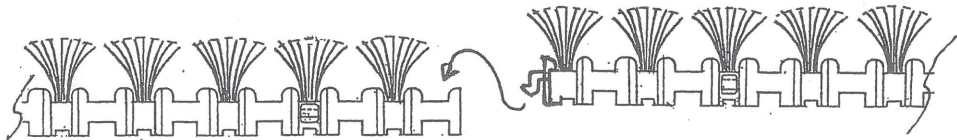
## ① 下地整地

地盤を平滑に(水勾配は考慮すること)整地する。  
人工芝と地盤との境がある場合には、端部をG.Lより2cm下げにて整地する。  
(その場合端部から敷設面に対しゆるやかな傾斜状(約1m位)にする。)



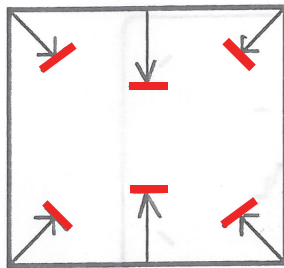
## ② 製品敷設

人工芝生デビロン#106の製品をそれぞれ連結(メスにオスをはめ込む)しながら敷設面に順に並べる。  
※カットがある場合には、ハサミ等にて棧を切って形に合わせて下さい。



## ③ 製品固定

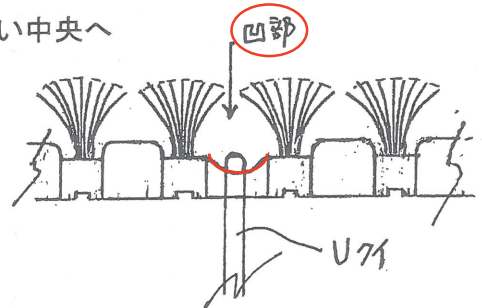
製品の敷設が終わったらUクイにて固定します。  
製品の4角で縦・横4列目と5列目の交差する点の4ヶ所と中央部で1/3部分の2ヶ所に凹の棧がありますのでその凹部にUクイを打って製品を固定します。(1枚に6本打つ)



角部は角から4芝くらい中央へ

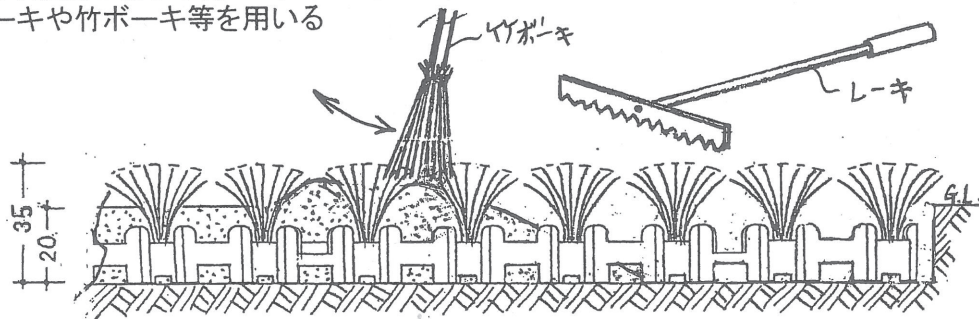
(凹部のある場所)

中央部分は5芝くらい中へ



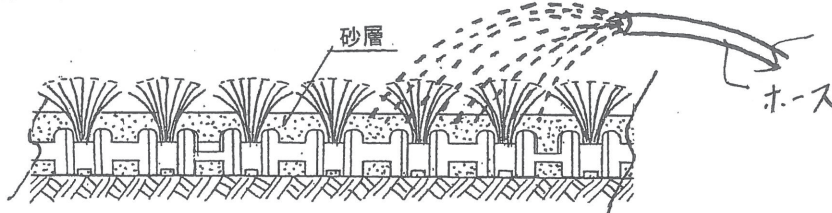
## ④ 砂入れ

Uクイを打ち終わったら、上部より砂を撒きながら基盤内に砂を充填していきます。  
砂の量は、基盤上部より約5mm位上になるようまんべんなく充填して下さい  
※レーキや竹ポーキ等を用いる



## ⑤ 散水

砂を充填し終わったら水を霧状にてまんべんなく散水して下さい。  
(砂を水締めするとともに芝生葉片を開かせます。)  
水を撒き終わったら砂が均一に充填しているか確認し、充填や取り除きをし均一化して下さい



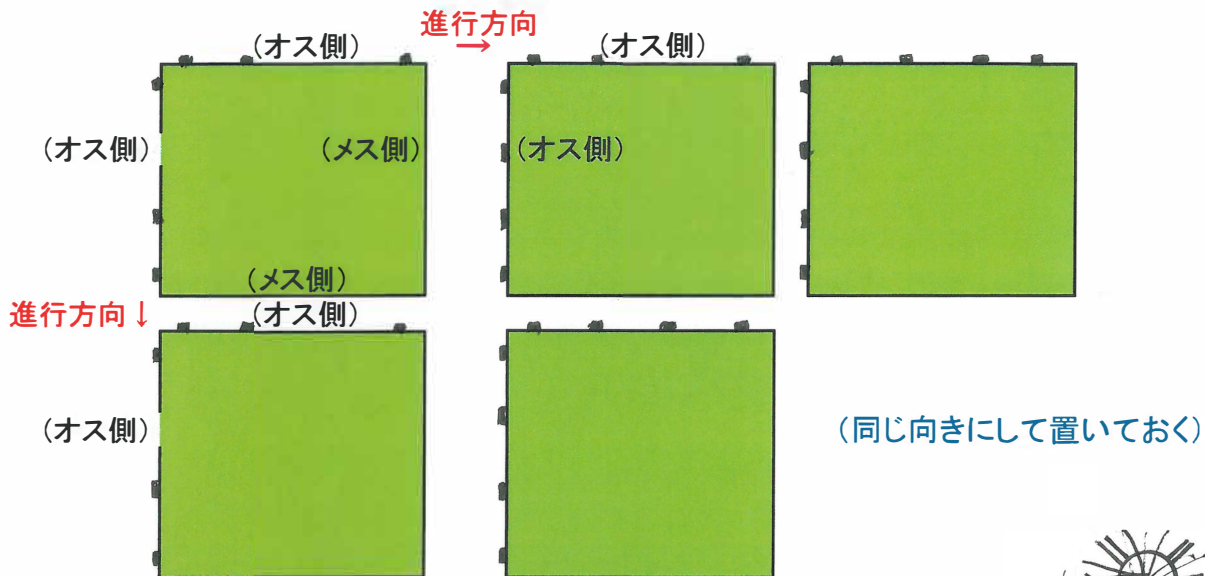
## ⑥ 完了



# デビロン#106の施工要領

## 1) 製品の連結方法

製品の並べ初めは、それぞれの**オス部を端にし**、順次オスをメスにはめ込んで敷設

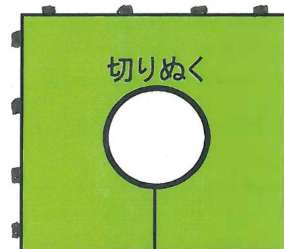
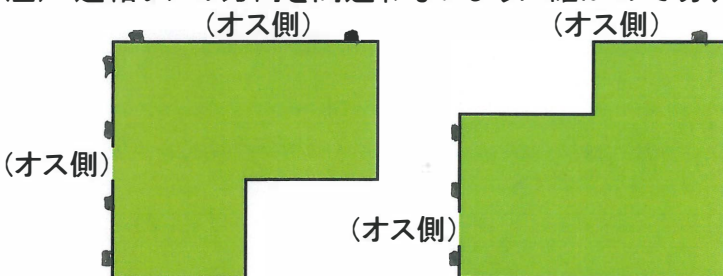
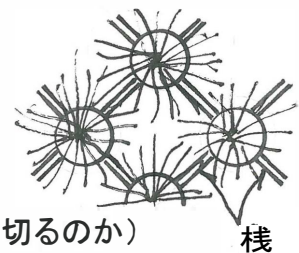


## 2) 製品のカット方法

### ① 端をカットする場合

※カットは芝生の棧部を切ります(裏側からだと簡単に切れます)

注) 連結ツメの方向を間違わないように確かめて切ります(どちら側を切るのか)



切れ目を入れる

距離の短い方から切れ目を入れる  
切れ目をひねって、広げて嵌めこみます

### ① 中央をカットする場合

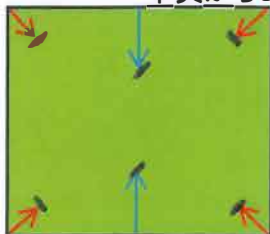
※柱や木があり穴を開けただけでは、嵌められない場合

## 3) クイの位置

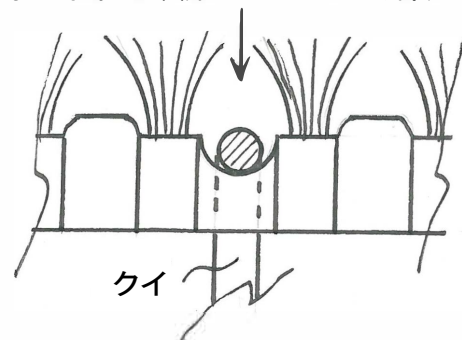
基本的にクイは、製品1枚につき6本で固定

場所は角から中央へ4芝分くらい、

中央から5芝部分くらいが目安



※打つ位置は、棧のへこんでいる部分



## 4) 砂入れ

クイの固定が終わったら上から砂を入れます。...**撒き散らかすように**(投げるように！)

出来るだけ、前後左右に、こすりながら入れて行きます。少ない部分には補充し、多い部分はかき出す  
全体に**芝生の頭が見える状態**に均一に入れておきます。※**少ない部分は踏んだらフワフワする感じ**

※砂は、水をかけることで締めりながら沈みますので、少し余分に入れておきます。

## 5) 散水・完了

砂入れが終わったら、ホース(シャワー口があるとやり易い)にてシャワー状(**勢いのある霧状**)に散水  
水で砂を沈めるように充分撒きます。...**緑が出て基盤が見えない状態**が良い。

水撒きで全面の砂の量を確認して下さい。(基盤が見える所は補充、多ければ竹ボーキ等でかき出す)  
砂量が一定しましたら、最後に、かるく散水して完了です。

# 施工断面図

デビロン #106

規格

サイズ : 500 × 500 × 35 h

芝生長 : 23 mm

基盤高 : 17 mm

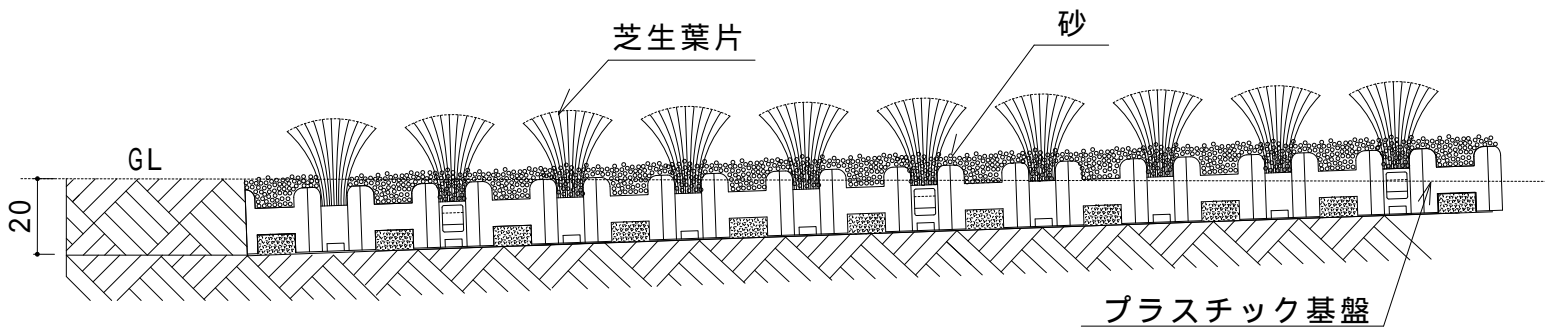
砂充填 : 20 mm ~ 25 mm

材質

芝生葉片 : ナイロン 100%

基盤 : ポリエチレン樹脂

芝生止め : ステープル止め



敷設面端部は20mm ~ 25mm切り下げ、  
敷設面に向かって傾斜をつける。(敷設面全体を切り下げない。)

## 人口芝生デビロン施工手順

地盤は真砂土等、土の地盤とする。

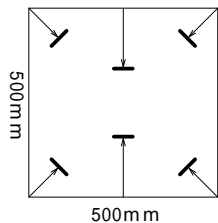
下地整地は地盤をしっかりと転圧し平滑に整地する。

端部はGLより切り下げ、敷設面に対し緩やかに傾斜状にする。

端部より製品同士を連結しながら敷設面に順に並べていく。

また、カットがある場合はハサミ等で棧を切って形を合わせる。

製品の敷設が終わったらUクイにて棧の凹部分に固定する。



角部のUクイ箇所は角から4芝くらい中央へ打つ。

中央部のUクイは5芝くらい中へ打つ。

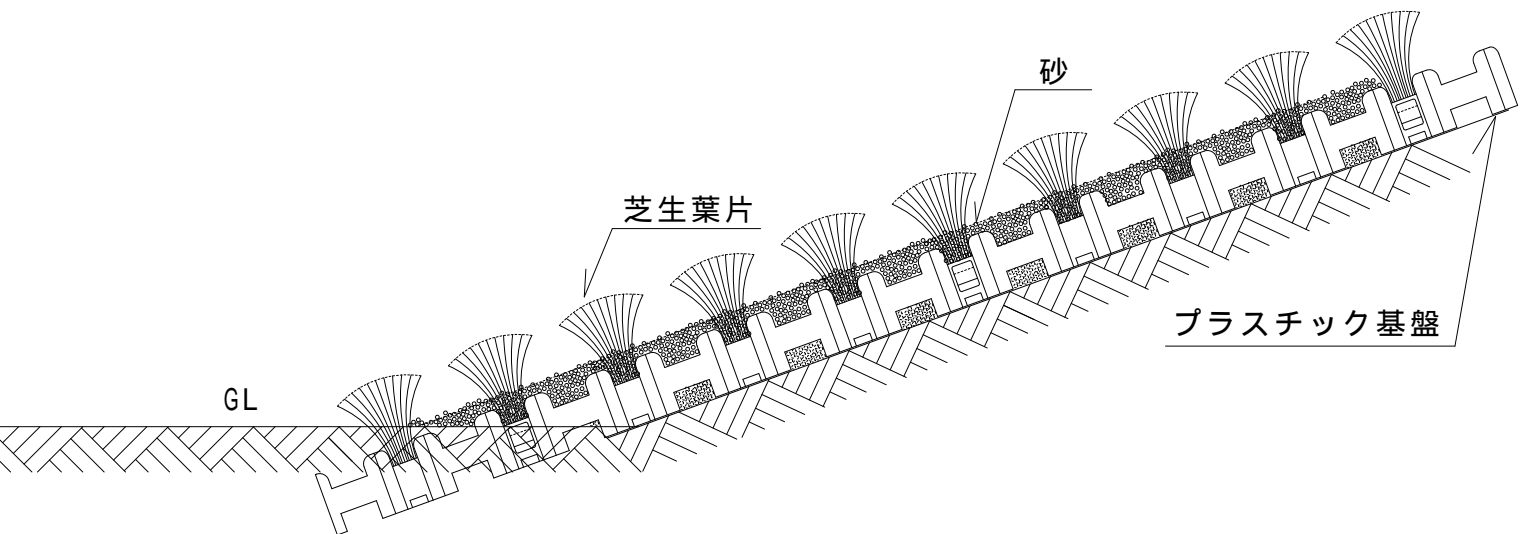
Uクイを打ち終わったら、上部より砂を撒きながら基盤内に砂を均一に充填していく

水を霧状にまんべんなく散水して、砂を締め固める。

# 法面施工断面図

デビロン #106

規 格	材 質
サイズ : 500 × 500 × 35 h	芝生葉片 : ナイロン 100%
芝生長 : 23mm	基 盤 : ポリエチレン樹脂
基盤高 : 17mm	芝生止め : ステープル止め
砂充填 : 20mm ~ 25mm	



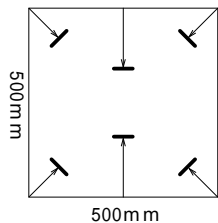
法面端部は20mm ~ 40mm程度埋め込む

## 人口芝生デビロン法面施工手順

法面上部より製品同士を連結しながら敷設面に順に並べていく。

また、端部は必要に応じてハサミ等を用いてカットしていく。

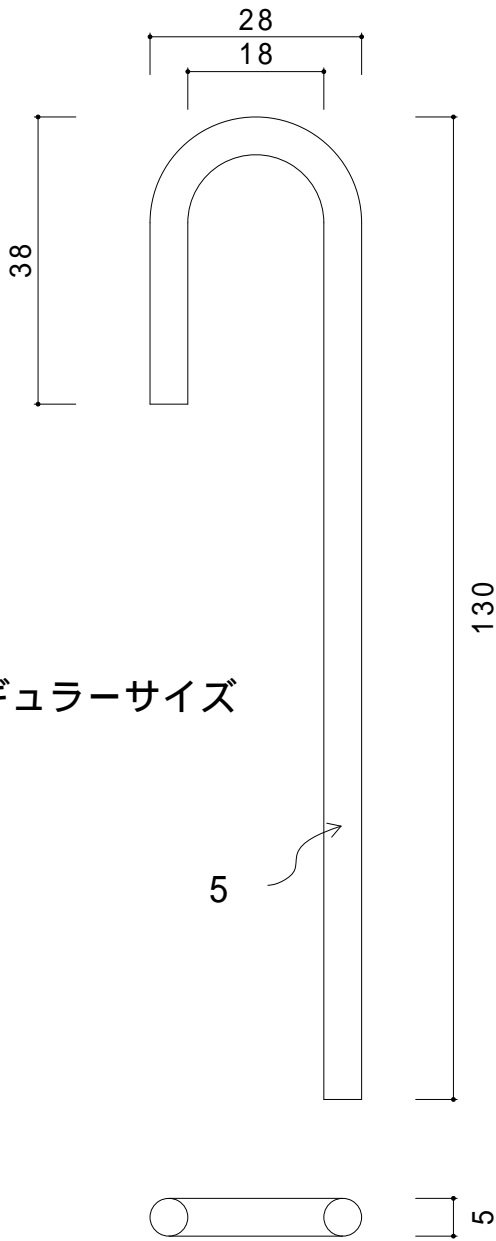
製品の敷設が終わったらUクイにて棧の凹部分に固定する。



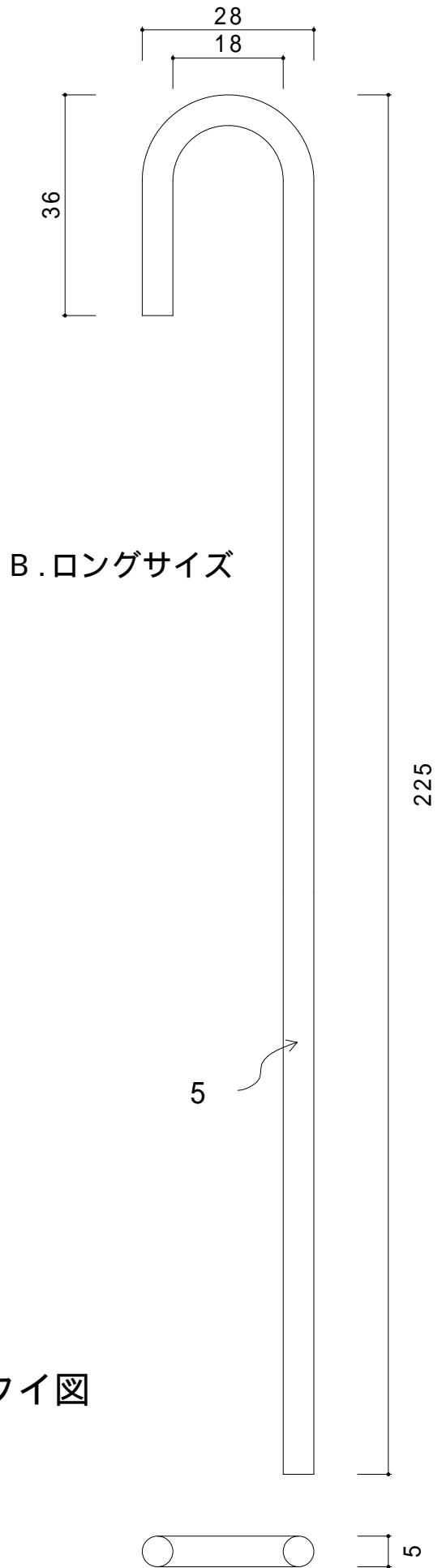
角部のUクイ箇所は角から4芝くらい中央へ打つ。  
中央部のUクイは5芝くらい中へ打つ。

Uクイを打ち終わったら、上部より砂を撒きながら基盤内に砂を均一に充填していく

水を霧状にまんべんなく散水して、砂を締め固める。



A. レギュラーサイズ



B. ロングサイズ

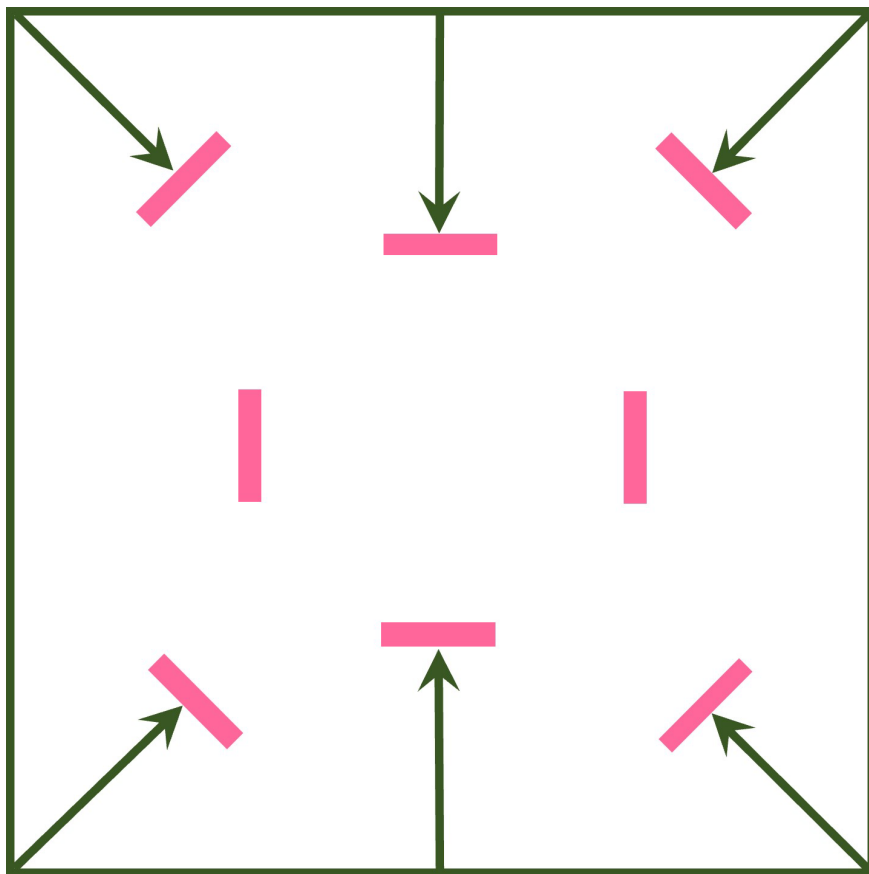
< 材質 > SWM軟鋼鉄線

デビロン # 106 ・ 102 ・ 260用 クイ図



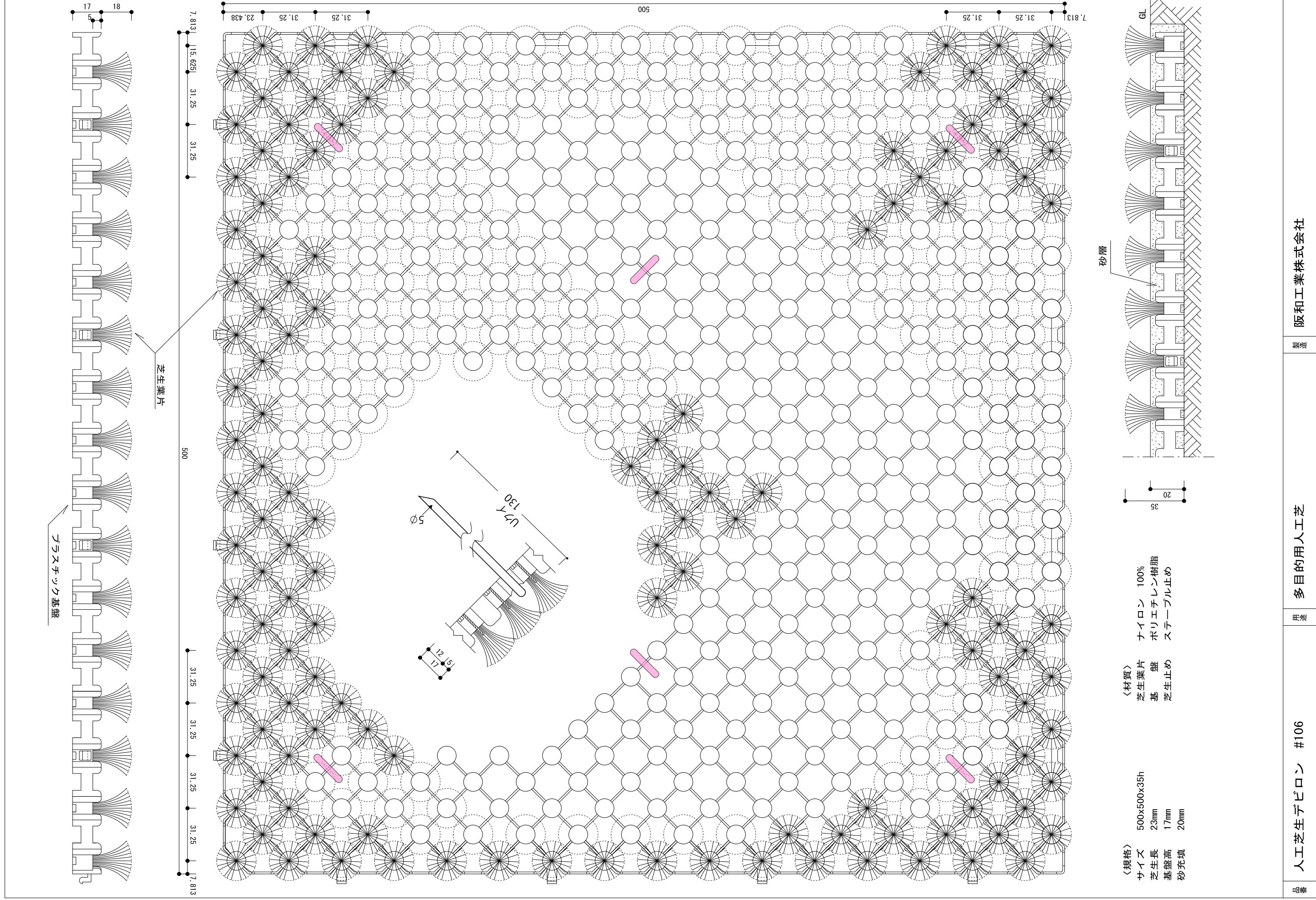
ご注意ください

クイは1枚につき  
6本です。



しるしは8カ所ありますが、  
打つのは6カ所です。





〈規格〉  
 サイズ 500x500x35h  
 芝生長 23mm  
 基盤高 17mm  
 砂充填 20mm

〈材質〉  
 ナイロン 100%  
 ポリエチレン樹脂  
 ステープル止め  
 芝生葉片  
 基盤  
 芝生止め